



A 試合会場レポート

試合番号 706

開催日 2019/05/05

第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 女子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 1,800	開始時間： 12:25	終了時間： 14:43	試合時間： 02:18	主審： 佐々木 伸子	副審： 西中野 健
------------	-------------	-------------	-------------	------------	-----------

岡山シーガルズ



監督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	21	第1セット 【 00:28 】	25	3
	25	第2セット 【 00:28 】	21	
	25	第3セット 【 00:26 】	20	
	17	第4セット 【 00:25 】	25	
	10	第5セット 【 00:19 】	15	

ポイント 【】内はセット時間
()内は交代選手

日立リヴァーレ



監督：角田 博文
コーチ：高橋 和人

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

第1セットの滑り出しは流れとしてよかったが、ややホツとした空気が流れた瞬間に乱れが生じ、セットを落としてしまった。

第2、第3セットは精神的に上手く立ち直り、リズムを取り戻したが、第4セットに入り、相手の対応の裏をかく攻撃ができなかったことに悔が残る。

チーム全体としてまだ足りない技術力、精神力のレベルアップを、一人一人が掴んでほしい戦いであった。

来年度に向け、教訓となる試合だったので、メンタルの動きを一人一人自分のものとして今後に生かしてほしい。

偉大な山口主将が引退となり、その後を引き継ぐ選手が出てくることを期待したい。お疲れさまでした5日間に渡り、連日の熱い大声援、本当にありがとうございました。

<監督コメント>

フルセットまでもつれる形となったが、最後まで集中し戦う事が出来た。

連続失点を抑えしつこいブロックで相手にプレッシャーを与えることができたので、しっかり切り返して決め切れた事が勝因だったと思う。明日の決勝はとにかく強気で戦う。

本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。

21	佐々木 萌 ()	渡邊 真恵 (高柳 有里)	芳賀 舞波 (土井 さくら)	上坂 瑠子 ()	25
	居村 杏奈 (山口 舞)	川島 亜依美 ()	窪田 美侑 ()	小野寺 友香 ()	
	宇賀神 みずき ()	金田 修佳 ()	渡邊 久恵 ()	堀井 有蘭 ()	

リベロ：丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ：齋藤 加奈子 小池 杏菜

25	山口 舞 ()	吉岡 美晴 (金田 修佳)	芳賀 舞波 ()	上坂 瑠子 ()	21
	宇賀神 みずき ()	高柳 有里 ()	窪田 美侑 ()	小野寺 友香 ()	
	佐々木 萌 ()	川島 亜依美 (及川 真夢)	渡邊 久恵 ()	堀井 有蘭 ()	

リベロ：榎崎 慈恵 リベロ：齋藤 加奈子 小池 杏菜

25	金田 修佳 ()	高柳 有里 (小野寺 夏希)	堀井 有蘭 ()	渡邊 久恵 (オカム大器 希美ハワイ)	20
	山口 舞 ()	川島 亜依美 (及川 真夢)	窪田 美侑 (遠井 萌仁)	小野寺 友香 ()	
	宇賀神 みずき (渡邊 真恵)	佐々木 萌 ()	上坂 瑠子 ()	芳賀 舞波 (土井 さくら)	

リベロ：丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ：齋藤 加奈子 小池 杏菜

17	及川 真夢 ()	金田 修佳 ()	芳賀 舞波 (土井 さくら)	上坂 瑠子 (窪田 美侑)	25
	宇賀神 みずき (渡邊 真恵)	高柳 有里 (小野寺 夏希)	遠井 萌仁 ()	小野寺 友香 ()	
	佐々木 萌 (吉田 みなみ)	川島 亜依美 (居村 杏奈)	渡邊 久恵 ()	堀井 有蘭 ()	

リベロ：丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ：齋藤 加奈子 小池 杏菜

10	川島 亜依美 (及川 真夢)	金田 修佳 ()	上坂 瑠子 ()	小野寺 友香 ()	15
	宇賀神 みずき ()	高柳 有里 ()	芳賀 舞波 ()	堀井 有蘭 (土井 さくら)	
	佐々木 萌 ()	山口 舞 ()	遠井 萌仁 ()	渡邊 久恵 ()	

リベロ：丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ：齋藤 加奈子 小池 杏菜

<要約レポート>

岡山シーガルズと日立リヴァーレによる準決勝は、フルセットにもつれ込む熱戦となった。第1セット序盤、佐々木の力強い攻撃を中心に岡山が6-1と大きくリードする。対する日立は渡邊、上坂、窪田の両サイドからの攻撃で19-1と追いつき、終盤に5連続得点をあげて先取する。

第2セット、第3セットは岡山が粘り強いレシーブから金田の緩急をつけた攻撃につなげ、高柳もサーブやライト攻撃で要所に活躍し連取する。

第4セットに入ると、後がない日立は渡邊にボールを集めて連続得点をあげて勢いに乗り、12-4と大きくリードする。岡山は途中出場の吉田が相手コートの際を突く巧みな攻撃で反撃に出るも、日立の勢いは止まらずこのセットを奪取する。

お互いに譲れない第5セット、両チームともボールを落とさない長いラリーが続き観客を盛り上げる。大応援団の声援を受けた岡山は山口のサーブで相手レシーブを崩して金田の攻撃に繋げ勢いに乗り、6-3とリードする。対する日立は第4セットに大活躍した渡邊の攻撃で7-6と逆転に成功する流れを掴み、最後は上坂のブロックが決まり、接戦を制して2年振りの決勝進出を決めた。

作成者：山尾 未来